

松医発第30-165号
平成30年 5月23日

各 位

愛媛県医師会中予ブロック 議長 村上 博
松山市医師会 学術部・勤務医病院部
主任理事 牧 徳彦

医歯薬連携を考える会講演会
「 “お薬手帳” とぜん息 —これからの取組み— 」

軽暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

松山市医師会学術部・勤務医病院部では、これまで学術的見地と実践者のより有機的な医療連携を図ることを目的に平成21年より「認知症対策」「喘息死ゼロ対策」「誤嚥性肺炎対策」「吸入指導と医師-薬剤師の連携」「口腔ケアの重要性と医師-歯科医師の連携」について取り組んで参りました。

今回は、**医薬連携の視点から喘息管理の重要性と吸入について**、平成23年に発行した“ぜん息救急カード(患者カード)”と併用した“お薬手帳”の新しい活用と、吸入デバイス指導について、また医薬連携の新しい取組み「プレアボイド報告システム」のご紹介を行います。

ぜん息患者を診ておられる医科・歯科医師をはじめ、吸入療法に関係する看護師、薬剤師など多くの方々のご参加を期待しご案内いたします。

なお、参加申込みは6月29日(金)迄に松山市医師会事務局へFAXにてお知らせ下さい。

記

日 時：平成30年 7月 7日(土) 16時～17時30分

場 所：松山市医師会館 3階 いきいきホール

(1) 『吸入薬の上手な吸い方—教わる重要性と教えるシステムの重要性—』

愛媛大学医学部 地域救急医療学講座 准教授 楠目 和代 先生

(2) 『喘息の医薬連携—お薬手帳に期待する役割』

愛媛県立中央病院 呼吸器内科 中西 徳彦 先生

(3) 『「愛媛プレアボイド報告」の取組み』

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 副部長 田中 守 先生

共催：松山市医師会、松山市歯科医師会、愛媛県病院薬剤師会、松山薬剤師会

愛媛県生涯教育制度 : 1.0単位 CC:79

日本歯科医師会生涯研修 : ※※単位

日病薬病院薬学認定薬剤師制度 : 1単位(Ⅲ-2 疾病)(選択性)

日本薬剤師研修センター : 1単位(選択性)

JPALS 研修会コード : 38-2018-0021-101

きりとり線

(FAX 915-7710 担当：児島・山本)

松山市医師会 行き

事業所名： _____ (代表者名)

電 話： _____ 参加人数： _____ 名